



11/6-7

子どもたちの心の成長のために芸術を！

人形劇団ひばたあむが やってきました！

11月6日（月）、7日（火）に東京から初めて人形劇団ひばたあむがやってきました。

6日（月）は、みゆき荘で利用者の方を中心にパペットを作るワークショップを行いました。封筒や画用紙などで、不思議な生き物を夢中になって作りしました。夜は、劇団代表の永野むつみさんに「感動すること、育つこと—今こそ芸術の力を人育ちに」と題してお話頂きました。

翌日7日（火）、みゆき荘での人形劇「かえるくんかえるくん」の上演には、みた保育園とシオン保育園の園児が参加しました。園児は、人形劇が始まるとすぐ物語に引き込まれ、主人公の気持ちに浸って喜んだり、悲しんだりしていました。子どもたちは感情が豊かで、色々な反応をする様子を目の当たりにして、改めてこうした機会が大切だと感じたという声を参加者の方々から頂きました。



11/11

元オリンピック選手による水泳教室

千葉すずさんによる 水泳教室を開催しました！

11月11日（土）、西ノ島総合公園温水プールにてバルセロナ・アトランタ五輪に出場した奈良県在住の千葉すずさんの水泳教室を開催しました。

当日は、西ノ島小学校から希望者の児童16名が参加しました。保護者の方々が見守る中で、プールサイドに整列して元氣いっぱいの挨拶に始まり、最初は緊張していた児童たちでしたが、明るく元氣いっぱいの千葉さんの丁寧な指導で水泳の基礎を学び、目を見張る成長を感じました。

終わった後のサイン会でも、千葉さんは全員に明るく笑顔でエールを送ってくれました。



12/1

美しい自然を守ろう！

保育園でエコ遊びをしました

12月1日（金）にシオン保育園、11日（月）にみた保育園にて西ノ島地球温暖化対策地域協議会主催のエコ遊びを行いました。

エコ遊びは、日常の身近なことを通じて、「もったいない」の心を育むことを目的としています。

推進員から「もったいないのはどっち？」と聞かれると、園児たちは「こっち！」と元氣よく答え、ご飯の食べ残しやリサイクルについてなど真剣に話を聞いていました。また、園児自らごみを分別してごみ箱へ捨てるなど、正しいごみの捨て方についてゲーム感覚で楽しく学びました。

最後には、ごみ捨てについて間違った質問をしてみると、「ダメだよー違つよー」と正義感たっぷりな答え、この日学んだことをしっかり守りましようとの約束しました。

美しい自然の西ノ島を守り続けるためにも、できることからみんなで取り組みましよう。





『外国人観光客おもてなしセミナー』を開催しました！

西ノ島町の外国人観光客は年々増え、今年は500人を超えるまでに至りました。500人と言えば1日平均2人弱の方が観光に訪れていることになります。

このような中、観光協会窓口では流暢に英語が喋れなくても、顔を見てジェスチャーも交えながら最低限のコミュニケーションができるまでになりました。隠岐島全体の中でも最も外国人が多いのが西ノ島だと思います。そこで、隠岐観光協会（西ノ島町・海士町・知夫村・隠岐の島町の四ヶ町村から成る広域観光組織）主催で、12月10日（日）に別府の合同庁舎にて『外国人観光客おもてなしセミナー』を開催いたしました。当日は知夫や海士からも参加者があり、会場は参加者でいっぱいになりました。

今回の講師は主に NHK で活躍する女性のジャーナリストである、アリス・ゴードンガーさんでした。現在は「山陰インバウンド機構」のアドバイザーでもあります。

『外国人観光客が来た時の対応として、先ず最初にかける言葉は、「ハロー」より「こんにちは」の方が好感が持たれる。』、『看板には漢字だけでなく、アルファベットでフリガナをふると解りやすい。また、できるだけ小文字を使用すると、やさしい感覚をもたれる。』、『言葉が通じなくても、最近はスマートフォンの普及により、翻訳ソフトが充実しているため、それを使ってみるのも良いかもしれない。』、『西ノ島は隠岐島の中でも景観に特化している島なので、常に「美」を意識し、海岸掃除を徹底した方が良いと思われます。バリ島などは毎朝海岸掃除をし、その上にボランティアでゴミ拾いのできる様にビニール袋や軍手、火箸が常設されています。』など、海外からの目線で見たアドバイスをたくさん教えていただき、2時間のセミナーの内容は非常に濃いものとなりました。

また、『来年は外国船籍の豪華クルーズが2隻も入港すると聞きました。何百人もの外国人が上陸して来ると思いますが、自信を持ってご案内してください。』と励ましのお言葉もいただきました。

外国人の観光客の方に話しかけるのはどうしても緊張してしまいがちですが、もっと気軽に声を掛けられることができるきっかけを今後も作ることができれば良いなと感じています。



セミナーの様子

発見！ 西ノ島の自然の魅力 Vol.24 『第3のカラス』

普段、西ノ島で見ることができるカラスは2種類いることを知っていますか？

その2種類とは、「ハシブトガラス」と「ハシボソガラス」です。同じような姿ですが、おでこの羽毛が張り出しているのがハシブトガラス、少し小ぶりでおでこの張り出しがないのがハシボソガラスです。また、「カー」というお決まりの鳴き声も違いがあり、ハシブトガラスは「アアー!アアー!」と大きく良く通る声に対し、ハシボソガラスは「ガアー、ガアー」としゃがれた声で鳴きます。

ところが冬になると、この2種類とは別の『第3のカラス』が現れます。

北の地域から越冬のために日本へやってくる「ミヤマガラス」です。他の2種より小ぶりでくちばしの根元が白く、ほぼ群れで行動します。いつもいるわけではありませんが、ユアーズ周辺の農耕地でよく見られています。

カラスも見分けられると、習性の違いも見えてきて興味深いです。ぜひ、この3種を探してみてくださいね。(by. 江崎)



▲ハシブトガラス（上）、ハシボソガラス（中）、ミヤマガラス（下）